

令和4年度 第3回学校運営協議会記録

令和5年2月16日(木) 10:30～12:20

場所：宮ヶ瀬小学校 2階 会議室・家庭科室

司会：小学校教頭

記録：小学校教務

◇南波指導主事から ※資料あり

- ・資料「主体的・対話的な学校運営協議会のチェックポイント」活用の提案。資料の各項目について、今年度の運営をふり返り、次年度に生かせるとよい。

1 開会のことば 小学校校長

2 学校運営協議会委員長より 協議会委員長

3 児童・生徒の様子

◇小学校教務主任

- ・先生方が創意工夫を凝らし、児童一人一人に合った学びを提供できていて、子ども達は自信を持って学習に臨んでいる。
- ・6年生は、卒業に関わる活動も増えてきて、意識の高まりが見られる。
- ・5年生も最高学年になる意識を高めている。
- ・リモートによるマラウイや沖縄の安田小学校との交流、テレビ局との学習など充実した活動ができています。

◇中学校教務主任

- ・3年生の受験が終わり、面接を終えた生徒には、手応えを感じている様子も見られた。
- ・小規模校として、個に応じた指導を実践することができた。
- ・コミュニケーションなど他者との関わりについては、引き続き次年度の課題としていきたい。
- ・現在、学校にある「河津桜」を教材にした学習（ゲストティーチャーを迎えての道徳など）を進めている。

4 よりよい学校づくりアンケート結果報告

◇小学校教頭 ※資料あり

- ・概ね良好な回答を得た。受けた評価や意見等に対しては、改善案など回答をしている。
- ・委員からの質問、意見はなし。

◇中学校教頭 ※資料あり

- ・小学校と質問項目はほぼ同じ。一人一人を大切にされた教育や他項との連携を大切にした取り組みには理解を得ている。どの質問項目も概ね良好な回答を得た。
- ・委員からの質問、意見はなし。
- ・南波指導主事から「学校側で地域の力を借りたい場面や活動があればご教えて欲しい。」との提案あり。

- ・「除草作業」「校庭に入れる砂をならす作業のお手伝い」「中学校の畑の動物除けネットの修理」などの要望が挙がった。
- ・地域に呼びかけるなどしていくと良い。

◇小学校校長 ※資料あり

- ・清川村コミュニティスクール研修会「宮ヶ瀬中学校区 学校運営協議会 活動報告」より取り組みの紹介

5 宮ヶ瀬合同体育祭について ※資料あり

◇小学校教務主任

- ・現在の児童生徒数や地域の現状を鑑み、これまでの体育祭種目や運営のしかたについて見直している。(趣旨や改善点、種目についてのアイデア、今後の流れなど)
- ・昨年度も良い雰囲気を実施できていたとの感想。伝統も大切にしながら、充実した時間になるよう検討をして欲しい。
- ・委員からは特に意見は出なかった。

6 次年度に向けて

◆学校運営の基本方針 ※各校の学校経営方針資料

◇小学校校長

- ・小規模校のメリットを生かす。
- ・CSに積極的に活動に関わっていただきたい。
- ・年3回ある児童アンケートについて、最後のアンケート結果では、児童が自信を付けていることがわかった。
- ・学力も含め、次年度も教育活動を充実させていきたい。
- ・橋本委員より、自己有用感が向上していることがすばらしい。
- ・特に委員からの意見はなし。

◇中学校校長

- ・「心」「学力」「生活」「連携」をキーワードとした4つの重点目標(中でも「学力」を一番の柱とする)を掲げて取り組んでいく。
- ・連携については緑中をはじめ、宮小中合同の視点で新たな取り組みも考えている。
- ・コロナ禍での教育活動で、計画が充実していることは言うまでもないが、まずしっかりとした教育環境(土台)を築くことが大切であると感じたとのこと。

◇委員

- ・子どもは少なくなっているが、地域・家庭の力の提供を。
- ・地域と学校が繋がるよう、どんど焼きや、八坂祭、体育祭等の場を利用して、取組を発信していく。

◇委員

- ・9年間を見通したカリキュラムであることや見直しが大切。
- ・学校サポーターなど外部人材の活用(キャリア教育、福祉関連など)

◇校長 中学GT 道徳の紹介 ※資料あり

◆令和5年度学校運営協議会の日程（案：5月12日(金)）

◆学校運営協議会の司会進行などについて

- ・運営委員会として、資料作成、司会進行、提案などを行っていく。
- ・学校からも資料作成のデータや運営のノウハウを伝えていく。

◆学校だよりの配付・回覧等について ※資料あり

- ・基本は回覧。
- ・B案。自治かには入っていない方々にも伝えた方がよい。自治会に協力を求める。
- ・緑中学区とも足並みを揃えていく必要がある。
- ・職員数が少なく、職員室が空になることもあるため、職員による配付は避けたい。また、配付時間帯に住民の不在が多く、話ができない。

◆その他

- ・今後の行事の確認
- ・今後の一貫校に向けても、緑中学校区のCS担当と合同会議を開く必要がある。現在、年3回ある会議に合同会議（11月頃）を加え、年4回の開催とする案。開催に向けて、事前に緑中学校区のCS委員長と相談したり、準備会も設けたりする必要がある。

7 意見交換、感想

◇委員

- ・地域の課題の多さを感じた。

◇委員

- ・子ども達も関わったクリスマス点灯式が成功して良かった。

◇委員

- ・アンケート結果が良好で良かった。今後に生かして欲しい。

◇委員

- ・子どもたちのために、尽力していただき有りがたい。今後もよろしく願いしたい。

◇委員長

- ・タウンニュースにマラウイとの交流の記事が載っている。この記事は現地のマラウイにも届いている。小規模校が生かされている活動である。

8 閉会のことば

中学校校長